



CITY X UNIVERSITY

Vol.27
May 2018

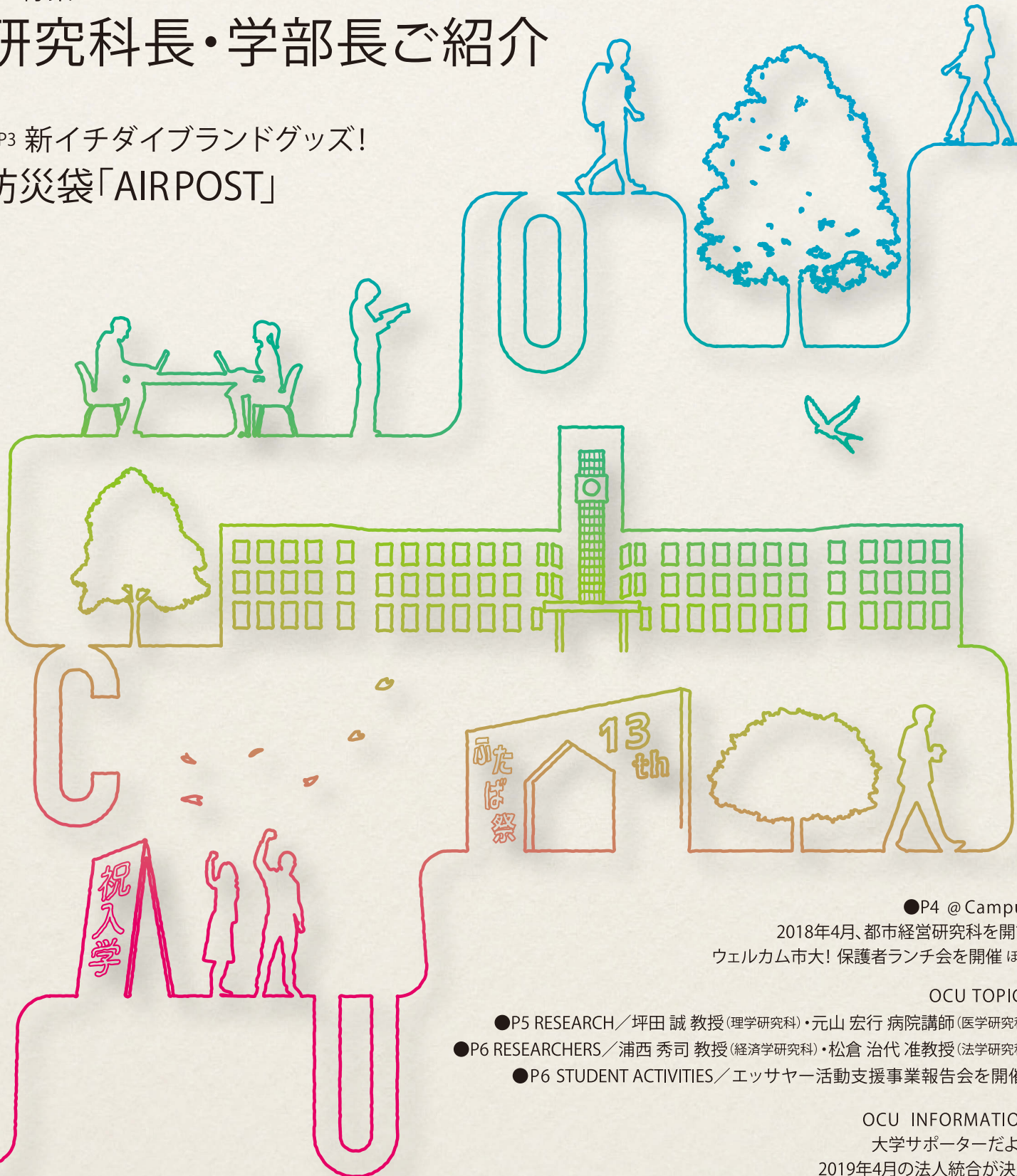
CONTENTS

●P1 特集

研究科長・学部長ご紹介

●P3 新イチダイブランドグッズ!

防災袋「AIRPOST」



●P4 @ Campus

2018年4月、都市経営研究科を開設
ウエルカム市大! 保護者ランチ会を開催 ほか

OCU TOPICS

- P5 RESEARCH / 坪田 誠 教授 (理学研究科)・元山 宏行 病院講師 (医学研究科)
- P6 RESEARCHERS / 浦西 秀司 教授 (経済学研究科)・松倉 治代 准教授 (法学研究科)
- P6 STUDENT ACTIVITIES / エッセイ活動支援事業報告会を開催!

OCU INFORMATION

大学サポーターだより
2019年4月の法人統合が決定

商 学部では「考える実学」の考えに基づいて、ビジネスに関してすぐに役に立つ技術や実務だけでなく、ものごとの本質をとらえる力を養います。次代を担うのは皆さんの世代です。何事にも貪欲に取り組んで、自分を高めていってください。

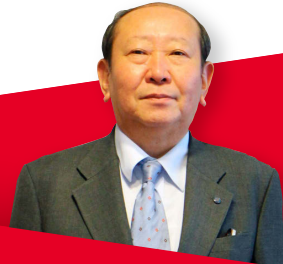


経営学研究科長
商学部長

向山 敦夫

Atsuo Mukoyama

人 に対し、勉学に対し、誠実さをもって向き合うことは、今日の社会では実に難しいことです。学生の皆さんには、その困難な課題にぜひ取り組んでいただきたいと思いますし、私自身もそのように努めます。



経済学研究科長
経済学部長

中村 健吾

Kengo Nakamura

夏 目漱石は『草枕』の冒頭で、「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。」と書いています。草枕は芸術論が中心ですが、広く「智に働く」ことの意味を大学で学んでほしいと思います。



法学研究科長
法学部長

勝田 卓也

Takuya Katsuta

特集 研究科長・学部長ご紹介

大 学は、真理を探究することに絶対的な価値が認められている稀少な場です。皆さんの人生の中で唯一無二のこの貴重な時間を大事にしてください。「君たちはどう生きるか」への自分なりの回答を発見されるよう期待しています。



文学研究科長
文学部長

仁木 宏

Hiroshi Niki

理 学とは、自然科学の総称です。理学は、自然の奥底に潜むからくり、すなわち理(ことわり)の解明を目指します。誰も見たことが無い自然の理を探り出し、世界に向けて発信しましょう。理学はエキサイティングです！



理学研究科長
理学部長

坪田 誠

Makoto Tsubota

い ま、国としての日本、地域としての大阪、大学としての市大、学部としての工学部は変革すべき時を迎えています。そして、大学生となった君たち自身も！己を知り、叡智を絞り、勇敢に、将来のため、君たちのために、共に挑み成長していきましょう！



工学研究科長
工学部長

長崎 健

Takeshi Nagasaki

社 会人になる準備期間として人間力を高め、学問に励んで社会の方向性を知り、生涯を通しての夢を持ってください。また、その夢は己だけのためであれば成就しませんし、行動しなければ成功はありません。学生時代を通して自他共栄の大きな夢を持ちましょう。



医学研究科長
医学部長

大畑 建治

Kenji Ohata

全 ての人間は、容姿、生活スタイル、生き方、考え方など、あらゆる点において異なるものです。本学で学ぶ皆さんが相互に尊重し合い、充実した大学生活を送るためにダイバーシティ・キャンパスを創造しませんか。



看護学研究科長

松田 光信

Mitsunobu Matsuda

生 活科学部・研究科では、学際性を生かし、履修コースを超えたユニークな内容の講義も設けています。今後、教員、同窓生、学生が協力しながら国際的な観点からのイノベーションを目指し、生活科学の研究を進めていきます。多くの学生諸君の協力を期待します。



生活科学研究科長
生活科学部長

岡田 進一

Shinichi Okada

UNIVERSITY

18 歳で学部に入る方もいれば、70代で社会人大学院に入る方もいる。30年前には例外的であったことが、今や当たり前になりました。型破りの人だけは、昔より減ったかな。互いの相違を認める中で、触発されて自身の中に生じる変化を楽しんでいきましょう。



創造都市研究科長

有賀 敏之

Toshiyuki Aruga

都 市の行政やビジネスに携わる人たちの課題はますます複雑になっています。都市経営研究科では既存の考えにとらわれない新しい発想（イノベーション）を無理のない方法（サステナブル）でチャレンジすることを勧めています。



都市経営研究科長

小長谷 一之

Kazuyuki Konagaya

新役員・新副学長



副理事長
神田 幹夫
Mikio Kanda



理事兼副学長
橋本 文彦
Fumihiko Hashimoto



理事
岡本 直之
Naoyuki Okamoto



理事兼病院長
平田 一人
Kazuto Hirata



副学長
小田中 章浩
Akihiro Odanaka

新イチダイブランドグッズ!

防災袋

AIR POST

流通・マーケティングを専門とする商学部 田村ゼミナール(担当:商学部 田村 晃二 准教授)3年生11名が、大阪・中崎町のかばんブランド「ichimaruni」と共同で開発。「市大生を守りたい!」田村ゼミの熱き思いから出来上がったのは、今までにないオシャレさとコンパクトさを兼ね備えた防災袋「AIR POST」。

※学年表記は昨年度のものです。



AIR POSTのココに注目!

- 部屋に置いても違和感のないオシャレなデザイン!
- 丈夫で軽い帆布を素材に使用!
- オリジナルの災害時行動マニュアルを同封!
- 豊富なカラーバリエーション!(6色)
- 内容物込みのバッグ総重量は、約2kg!(市場平均の約1/2)
- 販売価格は、市場価格平均の約7割!



AIR POST開発過程の一部をご紹介します!



ichimaruni中川氏との打ち合わせ

熊本の被災学生へのヒアリング



タグも田村ゼミ手作り



西日本インカレ(主催:日経BPマーケティング)で審査員特別賞を受賞

大阪市立大学キャンパス内生協SHOPで大好評販売中!

価格:税込9,980円

内容物:災害備蓄用焚黒糖(上野砂糖製)、オリジナルマニュアル(田村ゼミ制作)、水(500ml×2)、ラジオライト、ラジオライト用電池、救急セット、アルミポンチョ、パーソナルカード用名札、軍手、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ、簡易トイレ(3回分)、マスク(10枚入)



AIR POSTの
詳細は
こちらから



2018年4月、都市経営研究科を開設



都市経営研究科(GSUM)は創造都市研究科(GSCC)を基盤としてスタートした独立大学院です。授業は通学に便利な大阪駅前第2ビル6階の梅田サテライトで行われています。



ワークショップ風景

これからの都市に必要なまちづくりや政策、行政、ビジネス、医療・福祉等新しい専門科目群が用意されていますので、さまざまな分野から意欲のある方々が学ばれています。

ウェルカム市大! 保護者ランチ会を開催

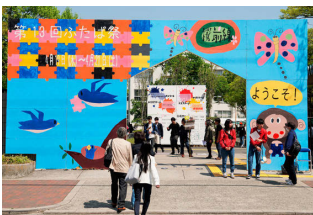
2018年4月5日(木)、入学式終了後、大阪市中央体育館内の「レストランカフェSAKURA」において、教育後援会協力のもと「ウェルカム市大! 保護者ランチ会」を開催しました。ランチ会では、学長、副学長をはじめとする本学教員が各テーブルに着席し、保護者の方々に学生生活や留学、就職活動などについて本学の取り組みを紹介し、質問に答えるなど交流を深めました。

学長のあいさつ



懇親会の様子

「第13回ふたば祭」を開催



ステージの様子

2018年4月19日(木)~21日(土)、杉本キャンパスにおいて新入生歓迎春の大学祭「第13回ふたば祭」を開催しました。今年のテーマは「桜前線」で、市大生全員の才能が桜のように開花し、桜前線が出来上がるほどに成長するという思いが込められています。3日間とも天候に恵まれ、各ステージでの発表や模擬店、教室での展示など、新入生たちが楽しむ姿が多く見られました。

「第15回居住環境デザインフォーラム」を開催

2018年4月20日(金)・21日(土)、学術情報総合センターにおいて生活科学研究科主催による「第15回居住環境デザインフォーラム—住のべき乗—」が開催されました。本フォーラムは生活科学部居住環境学科、大学院生活科学研究科で学ぶ学生による課題制作・実践活動の成果を展示・発表する場です。また来場者からの投票により、最優秀賞が発表されました。

最優秀賞受賞作 栗田美樹さん(4年生)



梶谷菜月さん(3年生)



高橋沙季さん(3年生)

※学年表記は昨年度のものです。

学生国際交流会を開催

日本語で「さくら」を合唱

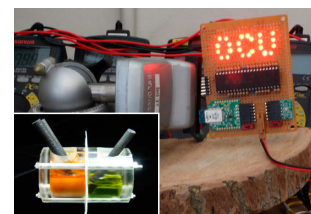


バンブーダンスに挑戦

2018年4月13日(金)、杉本キャンパス学術情報総合センターにおいて、教育後援会と国際センターの共催で新入留学生を歓迎する「学生国際交流会」が開催されました。今回はカラオケ大会やバンブーダンスなど参加型プログラムで構成されていたため、総勢170名の参加者は国籍や言語を気にすることなく楽しむことができ、大いに盛り上がりました。

伐採したヤシの木を用いて微生物発電に成功

工学研究科では2017年6月に伐採したヤシの木から抽出したバイオマス燃料を利用して微生物燃料電池による発電に成功しました。この取り組みは学科横断プロジェクトであり、化学バイオや電気情報など、さまざまな専門分野教員の連携により成し遂げられました。環境に優しいことで知られる燃料電池ですが、余った木材から微生物によりエネルギーを得ることで二酸化炭素の排出量の削減にもつながります。



ヤシの木を土台にした発電機



プロジェクトメンバーの皆さん

RESEARCHERS

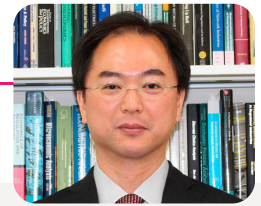
浦西 秀司 教授 経済学研究科

浦西教授は、交通・公益事業のような規制産業を対象に、競争導入や民営化といった規制緩和と政策が事業者の生産性などに与える影響について、経済学的アプローチから研究しています。例えば、私たちの日常生活と深く関わっている郵便や高速道路、鉄道、電力といったネットワーク産業の自然独占性や生産性、ユニバーサルサービス供給コストなど、費用構造を中心とした計量分析を行ってきました。

これまでの取り組みから、いくつかの興味深い結果を得ることができたそうです。例えば、従来の規制緩和の議論では、いわゆる「公の非効率」を解消するためには「民営化しなくてはならな

い」が「競争メカニズムがうまく機能すれば良い」のかが問題となっていたそうですが、日本の郵便事業における1970年代～2000年代の生産性変化を計測してみると、1980年代以降の小包送達市場は大きく拡大し、郵便局と民間宅配便事業者は競争状態にあったにもかかわらず、郵便局にとって競争が生産性の上昇要因とはなっていないということがわかったそうです。

「個々の規制政策について、これらの分析結果のみでは良し悪しを直接的に判断できませんが、今後の在り方を検討する際の判断材料の一つとなるよう、これからも分析結果を積み上げていきたい!」と浦西教授は意欲に燃えています。



◆アナザーサイド

浦西教授の休日のお楽しみは奥さまとの温泉巡り。奈良、兵庫、和歌山など近畿圏の比較的近場を巡るそうです。美味しいものをいただき、のんびりくつろぎフレッシュ! ですが、一つ残念なのが車での移動のため日帰りのときはお酒を飲めないこと。その代わり、事前に近隣の地酒を調べておき、お土産にして平日晩酌を楽しみますよ、と笑顔の浦西教授でした。

松倉 治代 准教授 法学研究科

学生時代は刑法より民法のほうが成績が良かったのですよ、と悪戯っぽく笑う松倉准教授の専門は刑事訴訟法。中でも「黙秘権・自己負罪拒否特権」について研究しています。

日頃事件報道などで犯人と疑われる人物が黙秘権を行使していることを知ると、「やってないならアリバイを示したらよい。真犯人なら自白して反省すべき。」と思うかもしれませんが。松倉准教授は、ドイツの刑事手続における、ラテン語の法格言に由来する「nemo tenetur原則(何人も自身の有罪立証に協力する必要はない)」に注目し、その歴史や理論的根拠について考察しています。「刑事訴訟の常識は世間の非常識」と言われることがあるそうです。松倉准教授は、「犯人と疑われる人に真実を話すよう義務付けることは、結局、

拷問に行きつきます。犯人と疑われる人も、刑事手続において、私たちと同じく無罪を推定される市民であり、刑罰という大きな不利益が及ぶかもしれない手続の中で、主体として尊重され、供述するか否かを自ら決定する権利を持っています。冤罪を生まないことも、真犯人を処罰することと同じくらい大切ですよ。」と、多くの冤罪を生んできた刑事手続の歴史的反省から黙秘権の重要性を説きます。

現在、警察や検事、弁護士などを題材にしたテレビドラマが多く制作されており、これをきっかけに法学に興味を持つ学生も多いそうです。自分が捜査官、被害者や裁判員であったらどうか、さらに、犯人と疑われたらどうか、と多様な想像をしてもらいたいそうです。



◆アナザーサイド

昨年8月に二人目を出産、育休を経て復帰したばかりの松倉准教授は、時間の使い方が今の大きな課題。ONとOFFをはっきり切り替えることを意識し、お休みの日は家族との時間を何より大切にしているそうです。往復3時間の通勤時間は貴重な読書タイムのため、出会った人には「最近読んで面白かった本は何ですか?」と尋ね、読書の幅を広げています。

STUDENT ACTIVITIES

エッセヤー活動支援事業報告会を開催!

2018年3月5日(月)、学術情報総合センター1階ツクルマにおいて、エッセヤー活動支援事業報告会が開催されました。

「エッセヤー活動支援事業」とは、本学が2017年度より教育後援会と連携して、学生の自主的な活動を応援する事業のことで、2017年度は10団体が採択され、8団体が報告会に参加しました。「エッセヤー」とは、大阪らしい掛け声と、tryを意味するフランス語Essayerを掛け合わせたものです。



経済学部1年生 大平航暉さんによるアルティメット颯和の発表



学長による講評



発表会では活発な質疑応答がありました

※学年表記は昨年度のものです。

「エッセヤー活動支援事業」採択事業一覧 ()内は団体名

LGBT当事者による教員・生徒向け出張授業
(にじいろらいと)

Sea級グルメ開発 (CAP)

防災啓発活動 (防災士クラブ)

バリアフリーマップ製作 (バリマ)

日中大学学生芸術交流展
(日中大学学生芸術交流会実行委員会)

一般市民対象のAED講習会
(医学部ライフサポートクラブ)

アルティメットを活用した地域親善大使事業
(アルティメット颯和)

府大×市大合同東北ボランティア訪問
(大阪市立大学ボランティアセンター「ボラカフェ」)

大正区の文化住宅活用支援
(大阪市立大学大学院 建築計画研究室)

ロビンフッドを目指せ!! 家族アーチェリー教室@OCU
(体育会 アーチェリー部)

大学サポーターだより

❖ 卒業生のみなさん、 キャンパスツアーを体験してみませんか？

大学サポーター交流室では、卒業生を対象としたキャンパスツアーを実施しています。思い出話を花を咲かせながら大学サポーター交流室のスタッフがご案内、杉本キャンパスを散策します。約3万4千もの樹木に囲まれ、季節ごとに表情を変える風景もお楽しみいただけます。同期会やゼミ同窓会などの企画に合わせてぜひご検討ください。

<見学コース約1時間コース>

集合：田中記念館(ホール、ホワイエ)

↓
 学術情報総合センター(屋上庭園・アステリア、卒論検索など)

↓
 本館地区(1号館・講堂、戦没学友の碑、五代友厚銅像など)

↓
 解散：田中記念館(同窓会サロン)

※旧教養地区、理工地区へのご案内も可能です。
 ※2回目、3回目の方にもお楽しみいただけるコースを別途ご用意します。

詳しくは、Webサイトをご覧くださいか、右記までお問い合わせください。



大学サポーター交流室

Webサイト：http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/graduate/campustour_ob
 TEL:06-6605-3607 E-mail:supporter@ado.osaka-cu.ac.jp

❖ 2019年4月の法人統合が決定 ～公立大学法人大阪市立大学・公立大学法人大阪府立大学～

公立大学法人大阪市立大学と公立大学法人大阪府立大学を新設合併する議案等が、大阪府議会において2017年11月8日に、大阪市会において2018年2月23日に可決されました。

今回の議決は、新設される法人において、大阪市立大学と大阪府立大学(以下両大学)ならびに大阪府立大学工業高等専門学校を運営していくというものであり、新大学設置への1ステップです。

両大学は、これまで統合の議論をきっかけに、さまざまな教育プログラム等の連携を進めてきております。今後も教職員や在学生のみならず、卒業生など多くのステークホルダーのご意見も参考にしつつ、これまで培ってきた両大学の伝統を大切にしながら、魅力ある新大学の実現につなげてまいります。

なお、法人統合後も、大阪市立大学と大阪府立大学は存続しますので、在学生の学生生活に影響はありません。入試も現行通り大阪市立大学として実施します。また、大阪市立大学に入学された方が卒業する大学は大阪市立大学であり、授与される学位についても影響を受けることはありません。



会見でがっちり握手を交わす荒川哲男大阪市立大学理事長(左)と辻洋大阪府立大学理事長(右)

大阪市立大学広報誌

CITY UNIVERSITY

vol.27

発行：公立大学法人 大阪市立大学
 企画・編集：法人運営本部 広報室
 デザイン協力：desk
 発行日：2018年5月

本誌に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は
 大阪市立大学 法人運営本部 広報室
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 e-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

本誌に掲載の写真および原稿の無断転用を禁じます



大阪市立大学
 OSAKA CITY UNIVERSITY

杉本キャンパス

商・経・法・文・理・工・生活科学 各学部・各大学院研究科
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

阿倍野キャンパス

医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科・医学部附属病院
 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

梅田サテライト

大学院創造都市研究科・大学院都市経営研究科
 文化交流センター
 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

<http://www.osaka-cu.ac.jp>